

世界一3メートル流し

荒れた竹林再生 若者ら挑戦

竹林の再生と竹の有効活用を目指し、京都府木津川市の若者有志でつくる「京都たけプロジェクト」（上田悠貴代表）が、同府井手町の大峰山（通称・万灯岳山、標高304メートル）で23日、放置竹林の竹を使って長さ3メートルの世界一長いそうめん流しに挑戦する。同グループでは、竹の伐採やそうめん流しの組み立てを手伝うボランティアも募集している。

同グループは木津川市の20代の男女8人で昨年8月に結成。放置竹林の整備に取り組み一方、竹を使ったカップの製作やサマーキャンプなどを行ってきた。今回の試みは、府の景観資産に指定されている大峰山のPRとともに、荒れた竹林の再生を目的に計画した。

そうめん流しは、大峰山の山頂からふもとまでの間で実施。真っ二つにした竹を山道につなぎ合わせていき、午後1時に山頂からそうめんを流す予定。水は山頂まで計4トンを車で運ぶ。使用する竹500本は19、20両日に井手町井手の放置竹林で伐採し、それぞれ4メートルの長さに切り、二つに割って節を取り除く。22日には針金で竹をつなぎ合わせる作業などを行い、本番当日の23日午前10時に山道に並べる。

京都・大峰山で23日 竹500本伐採、組み立て



の記録は現在、ギネスブックに申請中という。

上田代表は「イベントで放置竹林など里山の現状を知ってもらい、環境保全への関心を少しでも高めてもらえれば」と話している。問い合わせは、事務局（☎0774・82・5335）へ。

世界一長いそうめん流しの準備を進める「京都たけプロジェクト」のメンバーら井手町